

子供たちが未来を創る これからの当たり前を創る ～戸田市立喜沢小学校～

新たな社会 “Society 5.0”

5.0



1.0
Society 1.0 狩猟



2.0

Society 2.0 農耕



Society 3.0 工業

3.0

4.0



Society 4.0 情報

【内閣府作成】

【内閣府HP「Society5.0」より】

一人一人の多様なWell-beingを実現する社会を創るため、
今、わたしたちにできること…。
「新しい学校のカタチ」づくりの夢を一緒に実現しませんか。

- ◆ 日本の総人口は2050年に**9515万人**に減少、さらに2070年には**8700万人**、高齢化率は**約39%**の水準になると推計されています。
- ◆ 2025年には75歳以上の人口が全人口の**約18%**、2040年には65歳以上の人口が全人口の**約35%**になると推計されています。
- ◆ 人類社会は18世紀末からの工業社会、20世紀後半からの情報社会を経て、「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」**Society5.0**への移行が提唱されました。
- ◆ これからの時代はVUCA時代、「変動性」「不確実性」「複雑性」「曖昧性」がキーワードになる**「先行きが不透明で将来の予測が困難」な時代**となると言われています。

日本財団による第62回18歳意識調査（令和6年4月）に、「自国の将来についてどう思いますか」という質問がありました。

日本の18歳の回答は「よくなる」が**15.3%**と調査を行った中国・インド・韓国・アメリカ・イギリスと比べ最も低い割合でした。さらに、自分と社会との関りについて、「自分は大人だと思う」**49.6%**、「自分の行動で国や社会を変えられると思う」**45.8%**と6カ国中最下位で5割を切っているのは日本だけでした。

また、第61回18歳意識調査（令和6年1月）に、「義務教育で何が重視されていたと思いますか」という質問があります。

男女ともに最も多かった回答は、

「基礎学力（読み、書き、計算の知識や能力）を身に付けること」でした。

2番目に多かった回答は、

男性が**「集団の中で守らなければならない規律を学ぶこと」**、

女性が**「周囲の人とのコミュニケーションの仕方を身に付けること」**でした。

大きく変わる社会に、「これまでの学校の当たり前」で子供たちは未来を描けるのでしょうか。

子供たちがワクワク学ぶ学校が必要だと思いませんか、そんな学校一緒に創りませんか。

子供も大人もワクワクするような学校をみんなで創りませんか

パーパス

- 自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる人材を育成する

ビジョン

- 自分から考えて行動することができる児童の育成
- 自分も他者も大切にすることができる児童の育成
- あきらめないでやりきることができる児童の育成

ミッション

- 一人一人の多様なWell-beingを実現する学校づくり
- 全ての児童が「学校生活が楽しい」「学びが楽しい」と言う学校づくり
- 子供が主語の学校づくり

バリュー

- 教科の本質を捉えた授業改善で「主体的・対話的で深い学び」の推進
(非同期の学び・ICTの文具的活用・各教科でのPBL)
- 応用行動分析を生かした児童の主体性を育む支援の推進
(スクールワイドから個人まで、児童も取り組む応用行動分析)
- データを利活用した多層型支援の推進 (データを活用した教材研究、データに基づく取組の効果検証)

ワクワクする学校づくりのブレーキ「これまでの学校の当たり前」

教師が教える
子供は教わる

教師が学び方を決める
子供は教師の示した
学び方で学ぶ

教師が子供の
学びたいをコント
ロールする
子供は教師のレール
の上を歩く

教師が問いの正解を
決める
子供は教師の正解を
忖度する

教師が子供の時間の
使い方を決める
子供は教師の指示に
従う

教師がルールを決め
る
子供は教師のルール
に従う

ワクワクする学校づくりのエンジン 3つの「これからの学校の当たり前」

【脱・正解主義】

教師の正解を探し求める学校から
子供が最適解をつくる
学校

【脱・予定調和】

教師のレールを歩む学校から
子供の試行錯誤を
尊重する学校

【脱・教師主導】

教師主導の学校から
子供自身が学びの
ハンドルを握る学校

3つの「これからの学校の当たり前」を実現するための2本柱

「社会に開かれた教育課程」の編成に取り組みます

- 持続可能な社会の創り手を育成するキャリア教育・主権者教育のカリキュラム作成
- 学校運営協議会委員と教員の「脱・正解主義」「脱・予定調和」「脱・教師主導」の先進校視察
- 「これからの学校の当たり前」を学校運営協議会で熟議
- 「これからの学校の当たり前」保護者対象講演会の実施

「没頭・他者との関係・生きる意味・達成・ポジティブ感情」を実感する教育活動を実現します

- 非同期の学びとICTの文系的活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 応用行動分析の考え方を生かした児童の主体性・社会性を育成する活動の充実
- 教育データを利活用した多層支援の充実

必要経費の概算

- 視察旅費40万円
- 講師謝礼40万円
- 書籍購入5万円
- 備品購入15万円

子供たち私たちの未来のために
みなさまのご支援お願いいたします。